

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社スワコー					
代表者名	氏名	池上和明	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	〒394-0048 長野県岡谷市川岸上3丁目3-7					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	18 プラスチック製品製造業（別掲を除く）				
主たる事業の概要	電気絶縁・遮光・液晶支持・電磁波遮へい用プラスチックフィルム、樹脂板等、発泡材、両面テープ等の二次加工を業とし、光学機器、OA機器、PC周辺機器のセットメーカー向けに部品供給					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	54.44	53.00			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	100.78	95.00			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	6				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度		年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	本社工場および第二工場 9:00～17:00まで閲覧可能 連絡先：0266-23-9161
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

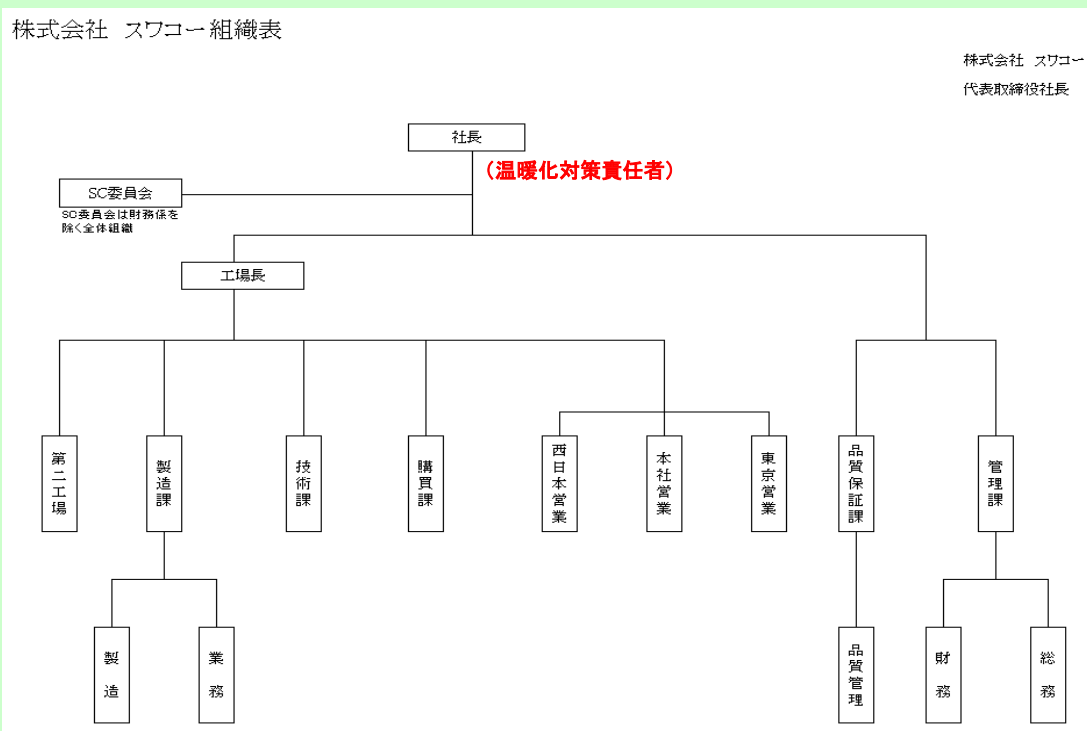
お客様のニーズにあった、きめ細かなサービス、スピーディーな対応を実現するため常に、「顧客第一」「顧客満足」を基本に新しい製造技術、厳しい品質管理に挑戦し続けております。又、事業に関わる地球環境、地域環境に最大限配慮し、継続的に企業の社会的責任を果たすため、

1. 当社の活動・製品・サービスの性質、規模、環境影響を考慮し、「地球環境」「地域環境」を大切にすることを認識し、環境負荷の少ない事業運営をいたします。
2. 環境管理システムを構築し、全社員と当社のために働くすべての人の参加により継続的改善への取り組みと、環境汚染の未然防止に努めます。
3. 当社の環境側面に適用される、法的要求事項、及び当社が同意するその他の要求事項を順守します
4. この方針に従って、環境目的及び目標を設定し、かつ見直しをします。
①省エネルギー ②廃棄物の削減及びリサイクル化 ③地域環境への貢献

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

ISO14000の本社組織活動を通し2023年度削減目標を設定し行う。
温暖化対策責任者(代表取締役)、計画書提出担当者(管理課課長)を設置する。

株式会社 スワコー組織表



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

ISO14000に準ずる
SC委員会 (月1回)
マネジメントレビュー (2回/年)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	100.78	t-CO ₂	加工品売上	33.21	単位	千万円
2021年度	調整後排出量	100.78	t-CO ₂	基準原単位	3.03	t-CO ₂ /	千万円
目標年度	目標排出量	95.00	t-CO ₂	目標原単位	2.86	t-CO ₂ /	千万円
2022年度	目標削減率	5.73	%	目標削減率	5.73	%	
目標設定に関する説明	<p>事業に関わる地球環境、地域環境に最大限配慮し、継続的に企業の社会的責任を果たすため、当社の活動・製品・サービスの性質、規模、環境影響を考慮し、「地球環境」「地域環境」を大切にすることを認識し、環境負荷の少ない事業運営をいたします。この方針に従って、環境目的及び目標を設定し、かつ見直しをします。①省エネルギー ②廃棄物の削減及びリサイクル化 ③地域環境への貢献</p>						
第一年度	排出量		t-CO ₂	加工品売上		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	加工品売上		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	加工品売上		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂	0		単位	
2021年度	調整後排出量	0	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率	0.00	%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂	0		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	0		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	0		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂	0		単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率	0.00	%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂	0		単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	0		単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	0		単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	150105	30分単位のデマンド管理	2022	0.2		
2	エネ起	310400	日使用量を管理、休業日の再生 エネルギー活用	2022	0.2		
3	エネ起	360799	高効率コンプレッサーへ更新	2022	0.3		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	0	0.00						
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0.00						
1,500k1未満	2	100.78						
合計	2	100.78						

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	2			
合計	2	0	0	0
自動車総数	6			
次世代車導入割合	33.3			

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	社有自転車保有し、無償貸与している
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	できるだけパレット輸送、配送頻度の効率化の実施

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 IS014000		2010年度
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

①平成27年度エネルギー使用合理化等事業者支援助成金を活用し冷暖房器具の更新によりエネルギー消費量を削減した。
 ②冷暖房の効率を上げる為、2019年に遮熱フィルムを窓ガラスに貼った。
 ③発電・小売電気事業者に変更しCO2排出量を従来より削減している。また、デマンドを管理しピーク電力が上がらないよう社内の電力管理を徹底している。